

令和7年度 高志中学校1年 「高志学」外部講師リレー講座②

- 1 期 日 7月3日(木)
- 2 場 所 福井県立高志中学校 若葉食堂
- 3 講 師 【前半】セーレン株式会社 専任役員 酒井 聡美 様
人事労務部主任 笹村 浩 様
【後半】株式会社キッソオ 代表取締役 吉川 精一 様
- 4 参加生徒 88名
- 5 報 告

セーレンは繊維会社として設立されましたが、現在は、培ってきた技術を様々な分野で生かし、特に自動車の内装材で高いシェアを誇っている企業です。また、近年は宇宙・半導体の分野に力を入れており、宇宙関係の企業と思っていた生徒も少なくありませんでした。これまで、社会の変化により様々な困難もありましたが、会社として成長することができたのは、社内で夢や目標を共有し、チーム一丸となって取り組み続けた結果であること教えていただき、夢を持ち続け、それをかなえようとする事の大切さを学ぶことができました。

キッソオは、メガネの材料商社として鯖江市に設立されましたが、時代の流れとともに市場が縮小し、メガネの材料を扱うだけでは経営が難しくなり、技術を生かしてアクセサリーや雑貨の生産に力を入れるようになったこととお話しいただきました。また、良い製品をつくるだけでなく、メディアなどを利用し、顧客に買ってもらいたいと思ってもらうブランディングの大切さについても知ることができました。さらに、自社製品だけでなく、鯖江のメガネをブランド化させるため、メガネストリームの提案に携わるなど、「めがねのまちさばえ」の形成に大きく貢献されていることを知り、生徒も驚いている様子でした。



生徒の感想

- ・何度も危機を迎えたけれど、何度も立ち上がっていることを知り、自分もセーレンのように、失敗してもあきらめないようにしていこうと思いました。
- ・世の中すべてセーレンの製品でできているかと思うほど、いろいろな業界に進出していて驚きました。
- ・キッソオは、アクセサリーでいろいろな人の考えを取り入れたことで、ここまで発展できたのだと思いました。私も、いろいろな人の意見を取り入れていきたいです。
- ・鯖江のメガネを盛り上げるために、メガネストリームやロゴをつくるなど、メガネに対する鯖江のこだわりと熱意が伝わりました。